

「活用」の力を育てる評価問題

単元名 資料の活用
啓林館「未来へひろがる数学1」
(移行措置)

評価問題例

1 ある中学校の女子バレーボール部の選手9人の身長 (cm) は、右の表のようでした。

(1) 範囲を求めなさい。

(2) 平均値を求めなさい。

(3) 中央値を求めなさい。

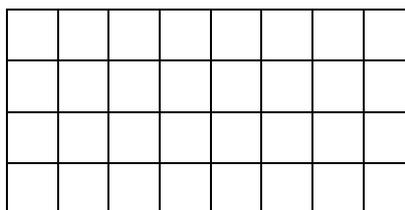
選手	身長(cm)
①	160
②	167
③	164
④	154
⑤	156
⑥	153
⑦	178
⑧	155
⑨	162

(4) 身長が160cmの選手は9人の選手の中で身長が高いほうでしょうか、低いほうでしょうか。理由とともに述べなさい。

(5) 階級の幅を5cmとして、度数分布表とヒストグラムをつくりなさい。

身長(cm)	度数(人数)
150~154	
155~159	
160~164	
165~169	
170~174	
175~179	

(人)



(身長)

評価問題のポイント

(4) については、⑦の選手が他とかけ離れた身長になっているために、9人の身長の平均値を求めると161cmとなり、身長が160cmの選手は平均値より低くなる。しかし、9人が身長の高い順に並んだときは、身長160cmの選手は高いほうから5番目なので、この選手は高い方でも低い方でもない(中央値)ともいえる。このように資料の傾向を多方面から読み取り、説明することを通じて資料を活用する力を育てる。

HOME

単元の流れへ